

2020年2月12日

『第8回生活環境職場ストレス調査』実施に受けたWG概要(2020年2月)

第8回生活環境職場ストレス調査 検討WG

- 代表 松崎 一葉 (筑波大学医学医療系 教授)
- メンバー 笹原 信一郎 (筑波大学医学医療系 准教授)
- 大井 雄一 (筑波大学医学医療系 助教)
- 道喜 将太郎 (筑波大学医学医療系 助教)
- 堀 大介 (筑波大学医学医療系 助教)
- 大滝 優 (医療法人清風会ホスピタル坂東 精神科医師)
- Christina-Sylvia Andrea (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 高橋 司 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 白木 渚 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 池田 朝彦 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 池田 有 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 室井 慧 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 新井 陽 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 斎藤 環 (筑波大学医学医療系 教授)
- 泉 龍太郎 (日本大学大学院総合社会情報研究科 教授)
- 友常祐介 (株式会社小松製作所 産業医)
- 高尾 総司 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)
- 丸尾 和司 (筑波大学医学医療系 准教授)

第8回生活環境職場ストレス調査実施に向けたWGを2019年6月から2020年1月にかけて全11回実施した。今後の方向性について一定の見解を得たのでこれを労働衛生専門委員会へ報告する。

1. 各WG概要

第9回 2019年6月12日 於・筑波大学

質問紙に関して検討を行った。アウトカムとして用いる指標として自殺は追跡困難なことから、希死念慮・抑うつ等他の指標を用いることとなった。

第10回 2019年6月19日 於・筑波大学

コホート研究のデザインに関して、先行研究の調査を行い、比較検討した。また、アンケート回収率向上のための方法に関して議論した。

第11回 2019年7月17日 於・筑波大学

調査方法として、オンラインアンケートツールの使用法に関して共有した。2020年度内にパイロットスタディを実施することを検討した。

第12回 2019年7月24日 於・筑波大学

質問紙に加える項目の検討を行った。自殺の危険因子となるものとして、不眠や希死念慮、経済的指標等を考察した。他、職場風土尺度の組み込みなどの案が出た。

第13回 2019年7月31日 於・筑波大学

引きこもりの経験などを調査項目に加える案について検討した。

第14回 2019年9月4日 於・筑波大学

本調査の略称を検討した。

第15回 2019年9月25日 於・筑波大学

質問紙の内容に関して再検討を行った。通勤時間、ポジティブチャイルドエクスペリエンス、アドバーストチャイルドエクスペリエンス、幸福学、引きこもり・いじめ、感謝尺度な

どを加えるか議論を行った。

第 16 回 2019 年 10 月 30 日 於・筑波大学

本調査の略称を T-SOCS と決定した。また、第 7 回調査の学術発表の立ち位置を再確認し、利益相反や倫理申請に関する情報を共有した。ストレス反応に関連する因子に関して前回調査による結果を再解析することを検討した。

第 17 回 2019 年 11 月 6 日 於・筑波大学

第 7 回の調査項目の検討を行い、削除すべき項目に関して議論した。またメインアウトカムに関して検討した。

第 18 回 2019 年 12 月 18 日 於・筑波大学

研究テーマをプレゼンティズム、健康生成論、自殺予防、感謝の効果とし、それぞれの担当を決めた。また回答率の低さに関して議論を行い、向上させるための案を検討した。

第 19 回 2020 年 1 月 29 日 於・筑波大学

2020 年 8 月に予備調査を行う予定とし、実施場所を決定した。プレゼンティズム測定の質問紙を検討し、WLQ に関して著作権元に問い合わせることとした。

2. WG からの提案事項

継続のテーマ：『世界最先端となる自殺ゼロ都市』を目指す

サブテーマ；健康生成論を活かして、『健やかに働ける街づくり』

継続の意義：時代に伴って筑波研究学園都市で働く人々を取り巻く環境は変遷していく。昭和・平成・令和にまたがって、設計や方法を刷新しながら調査研究を継続していくことで、つくば市の労働衛生に関する今後の指針を定めていく基礎データとなる。会員機関へのフィードバックの機会を充実させ、産業保健の日々の実践に役立ててもらおう。さらに我が国の労働者を取り巻く自殺やメンタルヘルス不調といった諸問題に関し、最先端の予防対策を発信していく。

予算編成 : オンラインアンケートツールを使用することにより, 従来の 80%程度
の予算規模で効率的・効果的に実施していく.

予算案:

(支出内訳)

| | | |
|------------------|--------------------|-----------|
| オンラインアンケートツール契約料 | 175,000 円 × 3 年間 = | 525,000 円 |
| 諸費用一式(英語対応等) | | 144,200 円 |
| 報告書作成費用 | | 500,000 円 |
| 通信費 | | 10,800 円 |
| 雑費 | | 20,000 円 |

(積立金)

| | |
|-----------------------------|-------------|
| 40 万円 × 3 年間 (2019~2021 年度) | 1,200,000 円 |
|-----------------------------|-------------|

3. 今後の調査日程案

2019 年度 第 8 回調査準備

2020 年度 秋 第 8 回予備調査実施

2021 年度 秋 第 8 回本調査実施

2022 年度 春 第 8 回報告書発表 平行して第 9 回準備

以上